

平成26年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（松本地域）

1 地域協働の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
光城山1000人SAKURAプロジェクト事業	安曇野市	安曇野市誕生10周年を迎える平成27年度に向けて、地域住民を中心とした光城山への桜植樹のプロジェクトを設置し、専門家の意見を聞きながら桜の植樹を行うことで、市のさらなる一体感の醸成と協働のまちづくりの推進を図る。	1,205,873	701,000	地域住民が桜の苗木の植樹・生育管理に携わっており、行政と地域住民の協働モデルとなっている。引続き管理体制が確保されるよう、次年度以降の取組を期待する。
住民との協働による地域活性化拠点づくり事業	筑北村	本城、坂北、坂井の旧村単位での拠点づくりに向けた、地域づくりのためのワークショップを広く住民参加を得て行うとともに、専門家による講演会の開催、先進地視察を実施する。	517,869	388,000	当初予定していた事業の中核となる地域づくりワークショップが中止となるなど、地域づくりに向けた合意形成の難しさはあるが、今後は本事業をきっかけとして地域の実情に即した地域づくりの実践が行われることを期待する。
入山辺地区地域づくり推進事業	入山辺地区の将来ビジョンを考える会(松本市)	学習会により見出された地域課題を踏まえて、地域内の道路沿線にツツジ等の植栽を行ったり、地域の各集落入口に案内看板の設置やホームページの構築により、地域の観光資源の発信や遊休農地を活用した取組を通じて、地域の活性化につなげる。	1,346,373	780,000	地域課題に向き合い具体的に行動することで、地域の絆と人の輪が広がるとともに、集落の案内看板を設置したことで、地区内外の人との会話が生まれるなど、地域づくりに一定の効果があつた。
「ホテルの光でつなぐ地域ぐるみ川普請事業」	「クリーン塩尻」推進連絡会議(塩尻市)	地域住民や環境パートナー制度登録事業所などが一体となり、河川敷のアカシヤ、アレチウリ等の帰化植物の駆除やゴミ拾いの環境整備活動を行う。合わせて芝桜の植栽や啓発看板の設置により、不法投棄されにくい環境づくりを推進する。	627,151	359,000	田川河川敷の清掃や外来生物の一斉駆除を「クリーン塩尻」パートナー制度に加入する団体等がボランティアにより実施した。また、東京都市大学塩尻高校や田川高校生徒会も加わり、田川河川堤防にシバザクラの植栽を行った。今後も団体数の増など事業の発展的な継続を期待する。
協働まちづくり「安曇野まちなかカレッジ」事業	安曇野まちなかカレッジ実行委員会(安曇野市)	市民、関係団体、行政の協働まちづくりの場となる、まちゼミや安曇野学講座を組み合わせた「安曇野まちなかカレッジ」を開催するとともに、各商店等に常設型の「まちなか図書館」を設置し、交流人口の拡大と魅力ある地域づくりを目指す。	976,860	727,000	様々な分野・世代の方がまちづくりに関わるきっかけづくりとして安曇野まちなかカレッジを開催し、活動が定着してきている。新たに「安曇野まちなか図書館」として、店舗に図書コーナーを設置し、まちなかカレッジ期間外の情報交流の機会づくりに取り組んでいる。
のびのび福島の子供たち！聖高原サマーキャンプ2014	麻績村サポーターOMIMO(麻績村)	福島県郡山市の団体とも連携し、放射能の影響のない信州でのびのびと保養してもらうために福島の子供たちを招待し、村の子どもたちとも交流できるサマーキャンプを地元住民と共に企画運営し相互交流を図る。	1,198,543	788,000	松本大学との連携など運営面での拡大を図り、村のイメージアップに繋がった。一方、昨年度と比べ参加者が減少していることから、課題等を整理して今後の開催につなげていくことを期待する。
下生坂地区 地域の魅力発信事業	下生坂集落活性化の会(生坂村)	下生坂地区において、地域住民による地区案内マップを作成するとともに、大城・京ヶ倉の登山客等の立寄所及び地域交流拠点となるお堂を整備し、村内外へ地域の魅力をPRするとともに、地域の親睦を深め活性化を図る。	1,663,470	1,125,000	地域の活動拠点としてのお堂の改修やパンフレットの作成等が実施されたが、今後は単年度限りの事業で終わらないよう改修したお堂等を活用した継続的な取組を期待する。

2 保健、医療及び福祉の充実に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
子ども支援・相談スペース設置・運営事業	松本市	ひきこもり状態にある市内の小中学生を対象として、支援の場を提供し、学習のサポートや相談業務を行うことで、ひきこもり状態の改善を図るとともに、子育てしやすい環境を整備する。	1,920,000	597,000	不登校児童、生徒の増加を学校のみならず社会・地域の課題として捉え、不登校に陥る前に早い段階で児童・生徒の居場所を提供し、子供のみならず保護者の相談場所にもなっており一定の効果がみられる。児童生徒の学習意欲の向上とともに指定校への通学が可能になるよう継続的な支援を期待する。
「はしれいくりん」でひろげよう健康づくりの輪事業	生坂村	小学生と地域サークルが製作した「はしれいくりん健康体操」をさらに幅広く地域住民に浸透させるため、ビデオ撮影しCATVでの放映や紹介冊子の配布を行う。また、健康運動指導士や足つぼマッサージの専門家が村保健師とともに地区に出向き、それぞれの専門性を発揮し、住民自らの健康意識の高揚を図る。	661,886	487,000	足つぼ健康法・健康体操のDVD、冊子を作成し、健康教室を開催することで、村民の健康づくりが図られた。今後は作成した冊子やDVDが有効活用され、村民の健康づくりが推進されることを期待する。
高齢者向け地域支え合い事業	シルバーカフェ(松本市)	高齢者が気兼ねなく立ち寄れるシルバーカフェを拠点に、地域企業や高齢者ボランティアによる各種の教室や地域に住む高齢者のさらなる生活充実を図るフォーラムを開催、特殊詐欺にから高齢者を守るための啓蒙活動を行う。	2,239,460	1,679,000	高齢者が気兼ねなく立ち寄れるシルバーカフェを拠点に、地域企業や高齢者が自らボランティア活動として参加し、地域への貢献活動の意義を理解し、その活動の輪が広がった。イベント等には多くの方が参加しカフェの活動も充実し、また、地域の方々に協力頂き地域の支え合いの体制が拡充できた。今後もカフェのイベント等地域の方に協力頂き地域の支え合う体制の一層強化を期待する。
長野県発・乳ガン手術後の手作りパッド事業	乳ガン患者会「桜むね」(松本市)	市販のものは高額で不具合が発生することもある乳がん患者用の保護パッドを、患者本人も参加しながら、自分に合ったものを自作するために県内外で製作講座を開催する。また、本講座を同じ悩みを抱える者同士が思いを共有できる場としても活用する。	2,485,133	1,030,000	手作りパッド講習会を多くの地域で開催し、たくさんの工夫が集められより良いパッド作りができた。また、浅間温泉や松本市観光温泉課と連携した取組から、乳ガン患者が旅行しやすい温泉地の確立につながり、観光面への効果も確認できた。今後もパッド講習会を重ね技術の向上を図り手作りパッドの普及を期待する。
ひまわり号30周年記念イベント	ひまわり号松本実行委員会(松本市)	障がい者と健常者が一緒に旅をして、相互理解によるバリアフリーの暮らしやすい街づくりの検証を行うとともに、地域大学等と連携し、旅行参加を通じてボランティア育成と福祉の推進を目指す。また、団体の30周年を契機として、これらを地域に広く発信する記念式典を開催する。	2,180,930	1,252,000	障害者日帰り旅行を実施し、多くの障害者の方が社会参加ができた。今後は新しい取組(バリアフリー、ユニバーサルデザイン)による福祉の推進を期待する。
波田地区内循環バス運行事業	松本市波田循環バス運行協議会(松本市)	高齢者や買物弱者などの生活交通確保のため、利用者のニーズを踏まえながら地区内循環バスを運行する。町会独自の時刻表の作成、町会や社協などが主体的に企画したバスを利用した催しを行うことで、「自分たちの地域のバス」であることの意識を高め、利用促進につなげる。	1,831,486	803,000	循環バスの利用実績は、全207便1042人(循環便154便324人、温泉便53便718人)で、利用目標1便あたり6.0人対し5.0人であった。昨年度と比較すると利用者も増加し、地域が主体となって積極的な取組が行われたが、今後の取組として利用者の声を聞いてニーズに合ったダイヤ変更等をし、利便を図ってもらいたい。
ソーシャルファーム設立と自立支援のための就労に係る事業	ソーシャルファーム松本自立支援センター(松本市)	障がい者や刑余者などを対象とした就労支援の取組としてのソーシャルファームの考え方を地域住民に広く発信するためのシンポジウムの開催と農林業を中心とした当事者への就労技能習得の機会を提供する。	986,039	777,000	ソーシャルファーム設立・運営により、孤立しがちな若者への理解を深めていただく啓発活動や、農林業就労技能習得教育を行い参加者が就労する等、自立を支援することができた。また、地域の方と協力団体との連携を深め、対象となる方の就労・収入へ向けての基盤を作ることができた。ソーシャルファームでの収入により一定の生活を図るとともに、一般就労へ繋がるよう期待する。
児童館における体験教室・学習支援の事業	NPO法人ワークスコープ(松本市)	松本市から指定管理を受けている市内の児童館において、自主事業として各種体験教室や、大学生や教員OBなどの協力を得て学習意欲の向上を図る事業を展開することで、子ども達の学び喜びと場の提供及び地域の活性化につなげる。	1,195,919	896,000	児童館での学習支援により、子どもたちが自信をつけ学力向上に寄与している。また、体験教室の実施により地域との交流が生まれており、今後も継続的な活動を期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援 金額(円)	
お家を最良の病室とする病- 看-宅連携総合ICT輪づくりケ アネット	NPO法人e- MADO病気のこ どもの総合ケア ネット(松本市)	在宅の難病患者・家族と医師、看護師、ケアマネージャなどがタ ブレット端末を使いチームとして相互に情報共有や遠隔モニタ リングするためのソフトウェア開発をする。またチームが行う在宅ケ アのメリットを一般に広く公開するセミナーを開催する。	3,447,901	2,584,000	遠隔リハビリソフトや映像コミュニケーションシステム、遠隔生体モニタ リングシステムの開発を通じて、重度心身障がい児の在宅ケアシステ ムの基礎部分が完成した。 また、2回にわたるセミナー開催により医療従事者や市民が現状と解 決策を学ぶことができた。
まつもと音楽フェスティバル事 業	まつもと音楽 フェスティバル 実行委員会(松 本市)	音楽を通じて自立・共生、社会参加を目指す障がい者グループ による音楽コンサートや、障がい者と来場者が触れ合えるワーク ショップなどを産学官協働により開催することで、障がい者に対 する理解を深め、当事者やその家族に自信と希望を与えるきっ かけとする。	3,643,310	1,592,000	演奏やパフォーマンスを通して障害者やその家族に自信を持つきっ かけをつくとともに、地域住民によるボランティアスタッフの活用によ り、地域を巻き込んだフェスティバルになった。
松本地区の動物愛護推進事 業	一般社団法人 ゆめまるHAPP Y隊(松本市)	保健所の保護期間を経過した犬をシェルターに引き取り、地域の ボランティアと一緒に保護活動や里親募集を行うとともに、動物 愛護についての啓蒙活動を行うことで、松本地区で保護された犬 の殺処分ゼロを目指す。	2,948,110	1,997,000	保護犬の譲渡活動及び啓蒙活動により処分頭数の削減に寄与してい る。活動に携わるボランティアも増加しており、活動が地域に定着して きている。
「自閉症を知ろう・感じよう・考 えよう」事業	自閉症を知ろ う・感じよう・考 えよう実行委員 会(塩尻市)	自閉症についての学習会、シンポジウム及び作品展覧会を開催 や先進地視察を通じて、より多くの地域住民が正しく自閉症を理 解し、課題解決に向けて自分達でできることを考える機会とする。	728,340	460,000	自閉症患者の意見や希望も取り入れながら、まだまだ知られていない 「自閉症」を知ってもらい、考えてもらい、正しく理解してもらい良 い機会となっている。今後、市民団体等とも連携しながら、継続的 な事業実施を通して、「自閉症」の理解の広がりを期待する。
平成26年度長野子ども療育推 進事業	長野子ども療育 推進サークル ゆうテラス(安 曇野市)	障がいや疾患を持つ子どもたちの在宅療育推進のため情報誌の 発行や学習会の開催、市町村保健師や療育コーディネーター等 をネットワークでつなぐシステムを構築することで、育児負担を家 族だけで背負うことがないよう、「支える人を支える」仕組み作り を目指す。	1,370,371	1,027,000	情報誌の発行や学習会の開催により、障がいのある子どもを育てる 家族に対し在宅療育に係る情報提供を行うとともに、支援者同士での 情報共有につながっている。医療・介護関係者のほか、民生委員への 啓蒙を進めており、小児在宅医療を支える支援の輪の広がりを期待 する。
いきいき街づくり事業	NPO法人CFM 実行委員会(松 本市)	軽運動教室の開催、運動指導員の育成事業を通じて、PPK(ピン ・ピン・コロリ)対策、ロコモティブシンドローム予防に寄与すると ともに、運動を通じた高齢者同士のコミュニケーションを図り仲間 づくりを推進する。	1,011,285	347,000	指導者育成事業において、広報が不十分だったことにより受講者が少 なかったものの、運動指導ができる人材が増加した。また、一般の方 が運動する機会が増えた。 今後はさらに運動指導者を増やしていくと共に指導分野の拡大を行 い、一般の方の運動の種類の選択肢を広げ運動人口増加につなげて もらいたい。
猫の殺処分ゼロへ向けての 事業	こねこの会(松 本市)	保健所に持ち込まれた猫をシェルターに引き取り、地域のボラン ティアと一緒に保護活動や里親募集を行うとともに、猫の飼い方 についての啓蒙活動を行うことで、松本地区で保護された猫の殺 処分削減を目指す。	3,302,424	1,594,000	地域ボランティアと協力した猫の飼主への啓蒙活動及び引き取った猫 の譲渡会の実施を通じ、猫の殺処分削減に寄与している。
子どもたちの「生きる力」育成 事業	そらいろのたね (松本市)	子どもの「自己肯定感」を高め、「生きる力」「社会力」を育成する ために、「コミュニケーションカトレーニング講座」、「いちのと性の 学習プログラム」を開催し、子どもの「自分を守る力」を高め、自 己肯定感を奪う暴力被害を防止する。	498,972	358,000	講座への参加者数が多く、年齢も幅広いことから子どものコミュニケー ション能力の育成や、思春期の子を持つ親の家庭教育への支援につ ながっている。
精神障がい者への就労支援 及び家族支援事業	三郷にに八(安 曇野市)	りんご農園での農作業や農産物加工品製造作業等による就労 体験を通じて、精神障がい者の回復をサポートするため、厨房作 業、農作業の指導員によるサポートを行う。また当事者家族相互 の繋がりや情報共有のための交流会、学習会開催する。	751,000	562,000	就労を通じ精神障がい者の社会復帰に寄与している。交流会の開催 により孤立しがちな家族のサポートがなされている。

3 教育及び文化の振興に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
学都松本いきいきノート事業	松本市	市内の小学生が地域で行った活動を記録し、学びを深める「学都松本いきいきノート」を導入し活用することで、子ども達の地域活動への積極的な参加を促すとともに、地域全体で子どもを育てる体制をより充実させる。	716,472	537,000	ノートが児童の地域活動への参加を促すきっかけとなったとともに、地域全体で子どもを育てる体制をつくるきっかけともなったが、カードへの記録20ポイント達成者が全体の約2%と低い結果であった。今後、地域全体で子どもを育てる体制の一層の充実を期待する。
おみごと文庫編纂事業	麻績村	平成25年度の郷土料理編に引き続き、村内各地域に残るお祭りや伝統行事に焦点を当て広く村内に発信するため、地域おこし協力隊が主体となって地域住民有志と協力しながら詳しく取材をし、「おみごと文庫」と題した冊子として編纂する。	868,094	651,000	冊子そのものは予定どおり完成したが、冊子の完成が年度末であったため、今後は前年度に作成した冊子と合わせて、冊子を活用した勉強会等の事業が27年度以降継続的に実施されることを期待する。
松本山雅応援事業	山形村	松本山雅のホームタウンである山形村において、実行委員会、観光協会、後援会等と連携しながら、大都市にはない、地方の農村ならではの良さを発信するホームゲームイベントを開催する。	458,273	337,000	山雅後援会山形支部、山形村開村140周年記念事業推進委員会と連携し、地域の小学生等の参画等を得て事業を実施できた。今後はこの取組みをきっかけとして、松本山雅を活用したまちづくりが継続されることを期待する。
朝日村に朝日将軍木曾義仲を訪ねる事業	朝日村	木曾義仲にまつわる史跡や伝説が数多く残されている朝日村において、地域住民が郷土の歴史に関心を持ち次世代へ継承していくため、富山県南砺市から寄贈を受けた「巴松」の植樹を行い、そのいわれを記した看板を設置するとともに、村内住民団体による解説を受ける史跡巡りツアーを実施する。	475,200	316,000	富山県南砺市の団体から寄贈を受けた「巴松」の植樹とその由緒を記した看板設置により、埋もれていた木曾義仲ゆかりの史跡に光を当てた。また住民ボランティアの解説による史跡めぐりツアーの実施によって、村内外住民の関心を集めた。
地域の古いお宝再発見～第2章～事業	筑北村	善光寺街道制定400年を契機に、村内文化財の存在を示す標柱や説明板等の見直しや松本方面からの玄関口であった乱橋宿にスポットを当てた街道マップを生涯学習支援ボランティアの協力を得ながら作成することなどを通じて、地域資源の再発見と、歴史遺産の情報発信につなげる。	2,237,613	1,509,000	文化財の案内柱の設置のほか、写真コンテスト、善光寺街道めぐりや講演会など様々なイベントが実施され、地域の歴史文化遺産の再認識が図られた。今後は、今回実施された取組みを契機に事業が継続され、村外からの参加者が増加するなど事業の広がりを期待する。
古文書資料編纂事業	松本人権推進古文書研究会(松本市)	松本地域の各地に保管されている古文書を読みとる学習会を開催し、被差別部落に人たちがどのような生活や仕事をしてきたか、いかに地域に役立っていたかを明らかにし、その成果を広く発信するため、地域住民にも分かりやすい形で冊子化することにつなげていく。	452,000	324,000	松本地域の各地に保管されている古文書を読みとる学習会を開催し、被差別部落に人たちがどのような生活や仕事をしてきたか、いかに地域に役立っていたかを明らかにし、その成果を広く発信するため、地域住民にも分かりやすい形で冊子化することにつながった。今後、冊子(史料集)を発行し差別意識が解消することを期待する。
新村の宝を掘り起こそう！「新村のまつり」	新村の宝編集委員会(松本市)	新村地区の多くの住民有志が一体となって、内容の調査、編集等に関わりながら「新村のまつり」を冊子にまとめ、小中学校や松本大学の総合学習に活用するとともに、公民館講座などで地域にも広く発信し、地域文化資産の次世代継承へつなげる。	661,337	429,000	地域の宝を再発見する取組で、地域住民が一体となり、地域の素晴らしさをみんなで共に共有しようと、冊子「新村のまつり」を作成し発行された。この冊子を活用し、地域の伝統文化の伝承を切り口として地域づくりに係る公民館講座等が実施された。今後、地区の子どもを対象に講座等を開催し、伝統文化を後世に伝え残す活動に期待する。
自然遊びで元気っ子	自然遊びで元気っ子(松本市)	自然の中で遊び、学ぶことが少なくなってしまう子どもたちを対象に、昔ながらの農業や伝統行事などを共同作業で行うことにより、子どもが主体的に遊び、考えることを養う契機とするとともに、子どもに優しいまちづくりを目指す。	665,162	498,000	自然や昔ながらの遊び離れが問題視される今日において、多種多様な事業を企画し、多くの子供たちに普段ではできない遊びの場を提供している点は評価できる。今後は地域の児童センター等との連携を図りながら「子供は地域で育てる」を実践していただき、継続的な実施を期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援金額(円)	
歴史の遊歩道環境整備事業	歴史の遊歩道を継承する会(松本市)	沢からの浸食等により通行が困難になってしまっている「歴史の遊歩道」としてのウォーキングコースの一部を波田地区の関係機関や一般住民が協働作業により整備するとともに、地区内外へ広く発信するためのパンフレット製作を行う。	880,663	526,000	遊歩道整備が26年度で全て完了予定であったが、天候及び軟弱な地質により予定していた整備が半分しか進まず、また、遊歩道が未完成のため、パンフレット作成も出来なかった。早期に完成し、歴史・自然散策としてのウォーキングコースの再活用に期待する。
歴史文化を活かした地域づくり事業	入山辺地区歴史文化愛護会(松本市)	住民自らが参加して、地区内の歴史的な文化資産の調査を行い、その文化資産と公民館報をまとめた入山辺文化誌を製作し、その冊子を活用した講座を開催することで、文化資産への関心を高めるとともに地域の絆を深め、地域の活性化につなげる。	1,970,000	1,477,000	文化誌の発刊、歴史文化講座の開催等により、地域の歴史文化に対する地域住民の関心が高まった。今後は、作成した文化誌を活用した更なる取組を期待する。
「マルチカルチャーキャンプ！！」～信州在住ブラジル人の子弟と信州の子ども達との交流～	体験創庫かけはし(松本市)	文化的な相違や言葉の壁などが理由で交流が少ない在住ブラジル人の子供達と地域の子供達たちがキャンプを通じて交流することで、異文化理解の面で高い教育的効果を及ぼすとともに、地域における国際交流のきっかけとする。	828,996	415,000	在住ブラジル人の子供達と地域の子供達との交流により草の根の国際交流の機会となっているが、今後の事業継続を行うためには事業効果を定量的に捉え事業の検証を行っていく工夫が必要である。
やまこの学校	やまこの学校(安曇野市)	「安曇野・穂高天蚕」を地域に幅広く知ってもらい、関わりを持ってもらうため、国営アルプスあづみの公園とも連携しながら体験学習型の講座の開催や伝承技術を記録保存することを通じて、地域資源としての愛着を深め、伝統文化の継承に寄与する。	1,065,282	798,000	体験型学習について、参加者数が増加しており、幅広い層の市民参加を図り養蚕文化への関心を喚起している。また、伝統的な機材・道具の保全に取り組み、文化財としての保護活動を開始した。今後は、継続的に事業が実施されるよう、実施運営協力者の輪の広がりを期待する。
文化芸術による都市間交流事業	松本市	文化観光交流都市協定を締結している札幌市、金沢市、鹿児島市等との都市間交流事業を実施し、松本市の魅力を伝えるための様々な体験プログラムを体験してもらい、地域住民との交流を図ることで市民間の継続的な文化交流を実現する。	4,266,151	1,117,000	松本市の魅力である3ガク都(岳都・楽都・学都)を実際に訪れ体感し、その魅力を参加者が地域に戻って伝えられた。また、住民を交えた企画により、市民間の継続的な文化交流が生まれた。シティープロモーション・情報発信の強化等今後の展開に期待する。
水争いの歴史に終止符！先人の偉業に想いを馳せる	朝日村	江戸時代から250年続いた朝日村古見地区と松本市今井地区の水争いの解決に大きく寄与した「五五・五七堰余水吐水門の閉鎖式」の行事について、新たに農業に携わる若い世代や地域住民、子どもたちに知ってもらうことで、水の大切さや先人の苦労を後世に伝える。	1,366,200	1,001,000	水門が村として重要な遺構であることを示す、看板や映像番組の制作により、村内外へのPRに寄与した。また、村内イラストレータによる漫画仕立ての小冊子を社会学習の導入部で使用することで、児童への関心も高まった。
中学・高校生向け子育て支援事業	ジョン万次郎20年の会(松本市)	松本市内の中高生を対象に、世界で活躍する著名人との交流、キャリア教育勉強会、ビジネスマンやシニア世代との交流会等を実施し、地域社会全体を通して次世代のリーダーを育成する環境を整備する。	722,360	541,000	「リーダーの育成」という難しい課題に取り組む本事業の考えには共感できる。リーダー思考を植え付けるための取り組み～リーダーの育成施策まで一連の育成プログラム等の開発を学校や教育委員会等と連携して進めることで継続的な事業実施を期待する。
「風に抱かれて」安曇野の民話を語り継ぐ	「安曇野の夜明け」製作委員会(安曇野市)	安曇野に伝わる民話DVD(3話、60分)を、「語り部の会」と連携して製作し、市内の小中学校、公民館、老人施設等へ配布するとともに、安曇野市、教育委員会の協力を得て、全国へも配布し、安曇野の観光客誘致に繋げるとともに、小中学校へ語り部の会による出前事業をモデル事業として実施する。	1,612,000	1,201,000	安曇野の民話DVDを製作し、小中学校、図書館等への配布を行った。DVDを用いた語り部の会については参加者がH25と比べ増加しているほか、他の地域で活動する市民団体の交流を開始する等に取組んでいるところであり、次年度予定されている語り部の会事業の拡充を期待する。
法学博士「加藤正治(犀水)先生」顕徳事業	法学博士「加藤正治(犀水)先生」顕彰会(生坂村)	地元出身の中央大学初代学長の法学博士加藤正治氏の教育者としての精神の継承と村民の誇りの拠点として句碑を整備することで村民の一体感を醸成するとともに、専門家を招いての講演会等を開催する。また、加藤正治顕徳館と連携して、観光客等へ句碑にまつわるガイドを実施し、句碑の活用を図る。	2,647,861	1,748,000	記念碑の建立や記念講演会の開催等が実施されたが、今後は、単年度限りの事業で終わらないよう記念碑等を活用した継続的な取組を期待する。

4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
地区の防災安心応援事業	生坂村	住民、消防団や村職員などが群馬大学のサポートを受けて開催する住民懇談会を通じて「地域特性に配慮した警戒避難体制づくり」をすることで、土砂災害による犠牲者ゼロの村づくりや地域での防災意識の向上を図ることを目的とする	3,632,040	2,724,000	住民自ら防災マップ作成に取り組み、いざといったときの命を守る行動が自主的にできる体制が確保された。今後も住民参画のもと、実践的な防災訓練を継続的に実施するなど、自助・共助の取組が期待できる。
古見原地域の交通安全を目指した営農の実践事業	朝日村	レタスやキャベツなどの農地の散水において、村道の通学路側に飛散しないための半スプリンクラーを村で整備することにより、中学生などの通学時の安全確保を図るとともに、散水の効率化による農業生産効果の向上につなげる。	2,165,292	1,623,000	通学時の安全確保が図られ、散水の効率化も図られた。また中学生が交通安全教室の際に半スプリンクラーの設置について学び、畑かん施設の必要性について知る契機となった。
備えあれば憂いなし(地域防災力向上)事業	筑北村	中学生を中心とした南三陸町訪問や同町から語り部を招いての講演会、災害発生時の要援護者救助のための支え合い台帳の更新などを行い、それらを活かして村全域対象の総合防災訓練を行い、住民の防災意識の向上につなげる。	1,509,291	817,000	本事業の成果を踏まえ、住民参画のもと、各地域の実情に即した実践的な防災訓練を継続的に実施され、引続き、自助・共助の取組が推進されることを期待する。
ユニバーサルデザインキャンプ2014「障がい者スポーツで安心安全な街づくり」	まつもとユニバーサルデザインネットワーク研究会(松本市)	ユニバーサルデザイン(UD)の更なる理解を深める官民が連携した啓蒙と2020年オリンピック・パラリンピック関係者や外国人観光客の受け入れを目指しながら、障がい者スポーツの誘致運動を盛り上げていくためのフォーラム開催とUD改修のガイドブック作成を行う。	2,333,563	1,703,000	行政が展開するUD(ユニバーサルデザイン)施策を背景に、民間が推進するUD改修基準を研究し、フォーラムを通じ「出来る事から始めるUD」を発刊し地域のUD推進に貢献した。今後もより多くの団体と連携しながらUD推進を期待する。
交通安全啓発活動及び交通事故防止対策事業	かもし課長を育てる会(松本市)	松本警察署員によってデザインされたイメージキャラクター「かもし課長」の着ぐるみを活用して幅広い世代の人たちに対する交通安全啓発活動を推進し、交通安全意識の向上に寄与する。	529,200	352,000	作成した着ぐるみは、愛らしいキャラクターで、若年層から高齢者まで人気があり、交通安全啓発活動に良く活用されている。また、親しみやすいデザインのため、幼児からの交通安全意識の向上に一役買っており、今後の啓発活動に更なる期待ができる。
牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業	牛伏鉢伏友の会(松本市)	牛伏川階段工の重要文化財指定を契機として、地域にその存在を幅広く知ってもらうため、学習講座の開催やインストラクター制度の制定による案内人養成等を行う。また事業を効果的に実施し、県内外へ広く発信するため、行政、地区町会、地元企業等関係機関との連絡会議を組織する。	670,482	480,000	防災講座の参加者が増え、見学者の増加がみられる。案内人の育成にも取り組むとともに、行政や地元との連携会議等により協力を得ながら継続的な取組がなされている。
「だれもが参加したくなる心に響く交通安全イベント」	NPO法人交通安全教育とらふいっく Sisters(塩尻市)	親しみやすいミュージカル形式での交通安全教室や事故現場を再現し危険を見せるスケヤードストレート形式の交通安全教室などを通じて、子どもから高齢者まで幅広い層を対象として、交通安全意識の高揚や知識の普及につなげる。	2,173,510	1,591,000	地域の枠を超え、依頼があれば機材一式を持参しミュージカルやスケヤードストレート等でわかり易い交通安全教育を行う活動の形式と内容は、当団体特有のものであり、実績も評価できる。
郡山ジュニアオーケストラをサイトウキネンフェスティバルに招待する事業	NPO法人日本チェルノブイリ連帯基金(松本市)	福島県の郡山ジュニアオーケストラの子どもたちを松本に招待し、サイトウキネンフェスティバル青少年プログラムに参加し、音楽交流を通して地域住民との交流の機会を提供する。	1,569,165	877,000	東日本大震災等による避難者支援を実施している市内団体のネットワーク「避難者支援ネット」の代表団体として様々な事業を活発に実施しており、この事業においても、音楽交流を通して地域住民との交流を効果的に実施された。今後も、東日本大震災等による避難者支援の事業実施継続を期待する。

5 環境保全及び景観形成に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
食品ロス削減事業	松本市	食べ残しを減らす取り組みを、家庭と外食(飲食店等)の両面から行うため、事業者側からの提案や協力を得ながら、啓発物品やハンドブック、ペーパーコースターを作成し広く発信することで、「もったいない」意識の啓発を行う。	1,884,668	1,351,000	飲食店等の協力により、コースターやポケットティッシュを店舗に設置してもらい、連携して事業の実施が図られた。また、この事業により、ごみがどれだけ減ったかを数値化することは難しいが、一般廃棄物の総量が減少していることから、効果が上がっている。「残さずたべよう! 30・10運動」は、県内のみならず、県外からも問い合わせが寄せられる等、事業は着実に浸透しており、今後も積極的にPRし、運動の定着を期待する。
不用食器リサイクル事業	松本市	循環型社会の形成に向けて、廃棄物の発生抑制と再利用及び再生利用を推進するために、不用になった食器のリサイクル事業を、市民団体との協働により市内各地で実施する。	687,314	515,000	不用食器のリユース等を実施し、循環型社会の形成を図ることができ、また、ごみの減量と最終処分場の延命化に繋がった。食器回収の回数、量ともに逐年増加しており、事業の着実な浸透がうかがえ、効果が確認できた。
若澤寺史跡現地整備事業	若澤寺史跡保存会(松本市)	市指定特別史跡「若澤寺跡」の良好な史跡環境を維持するため、支障木の伐採を行うとともに、史跡の保存活用を地域に積極的に啓発していくための講演会や学習会の開催、現地案内のためのパンフレットの製作を行う。	5,245,094	3,407,000	市特別史跡若澤寺跡の支障木の伐採により、石垣の倒壊や遺構の破壊の危険がなくなった。また、説明板やパンフレットの作成によって、史跡を訪れる見学者が、遺構の位置関係を以前よりも容易に把握できるようになった。今後も、環境整備を継続し、貴重な文化財を後世に伝え残す活動に期待する。
塩嶺王城パークライン景観形成事業	塩嶺王城観光開発協議会(塩尻市)	指定50周年を迎える塩嶺王城県立公園において、更なる公園の活用を図るため、地域住民の方とパークライン周辺の草刈り作業を行うとともに、景観の支障となっている樹木を伐採する。	2,782,976	2,032,000	産業観光事業に現在必要と考えられている、広域的連携を活動の重きにおき、2市1町村が魅力的な地域づくりに努めた。整備事業のみならず、マラソン大会にも多くの参加があり、家族連れの応援とともにウォーキングを楽しんでいただくなどの連携の賜物として新しい形が生まれた。
水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業	みどり湖水芭蕉の会(塩尻市)	平成26年度に植栽を行って30年を迎えるみどり湖の水芭蕉公園をよりいっそう磨き上げ、魅力ある観光地として発信するため、地域住民やボランティアとの協働により遊歩道や東屋、育成環境整備等を行うとともに、水芭蕉まつりを開催する。	436,793	316,000	水芭蕉の植栽30周年を記念して4月中旬に開催された水芭蕉まつりの運営及び観賞用スペースを設置した。また、年間を通じて、公園の景観保全と観光客の安全確保を目的として、遊歩道及び東屋を整備した。会員を中心に地域住民を主体とした、地域への愛着を深める地道な活動であり、モデル性に優れている。
ふるさと再発見「ふるさとウォッチングマップ・ネット版作成」事業	NPO安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)	地域の魅力再発見の機会として以前から行われてきている「ふるさとウォッチングin安曇野」の資料をまとめた、マップをネット版として公開する。また、平成26年度は「ふるさとさんぽ」としてリニューアルし継続的に展開していくことで、市民の地域学習や着地型の新しい観光振興へとつなげていく。	904,716	675,000	ホームページへ掲載したマップについて、地域の景観形成や観光振興のきっかけとなっている。ふるさとさんぽについてイベントのネット予約システムにより利便性向上に取り組んでいるが、前年度と同規模の開催であり、引続き住民参加が広く行われるよう活動の発展を期待する。
「いきものみつけファームin松本」イベント運営・情報発信・普及啓発事業	いきものみつけファームin松本推進協議会(松本市)	地域の産学官民からなる本協議会が、市内小学生を対象として農業や化学肥料を減らした循環型農業による農作業体験を行うとともに、生物多様性や商品流通まで学ぶ体験イベントを開催することで、環境教育・社会学習の必要性を学ぶ機会とする。	1,151,540	760,000	リピーターを含む多くの参加者(約200名)があり、更に多くの方へ情報発信と体験活動に関わるきっかけを提供することができ、環境教育・社会学習の必要性を学ぶ機会となった。
会田宿および周辺街道の景観形成事業	会田宿街並み委員会(松本市)	松くい虫被害により枯れてしまった会田地区の天然記念物「千本松」を保存展示するとともに、宿場の水屋、一里塚を整備することで、宿場の景観形成を図り、住民の地域への愛着を深める。	3,241,148	1,745,000	会田宿に東屋が設置され、観光客等が訪れやすい場所となった。千本松から作成した彫刻のほか、千本松に関わる写真資料もあすまや内に展示され、かつて地域にあった文化財をもとに住民同士の交流の場としての活用に期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
Re Forest Camp事業	筑北ファン倶楽部(筑北村)	H25元気づくり支援金事業で購入したキャンプセットを利用した松本子供留学保養キャンプの受入を行うとともに地域の宿泊施設と連携して行う筑北村親子レスパイト拠点活動を多くの方に知ってもらい、協力者の参加・チャリティイベントへの参加を促すため、HP、パンフレットを作成する。	712,505	534,000	親子レスパイト事業は障がい児等を持つ親は基より児自身にとっても普段体験が難しい体験をできる有効な事業である。事業の拡充により他地域への波及効果も考えられ、今後は更なる体制、連携の強化により、事業の継続的な実施を期待する。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
信州朝日イメージアップ作戦事業	朝日村	村へお見えになる観光客などの方々に、統一のイメージとして発信し、好印象を持ってもらうために、村内から地域住民を広く募って、村道沿線の植樹帯などにラベンダーの植栽を行う。	2,406,920	1,331,000	朝日村を縦断する基幹道路の植樹帯を村民ボランティアの力で甦らせ、信州朝日のイメージアップが図れた。ラベンダーの成長管理を通して、住民の景観意識の醸成と朝日村の新たな観光資源としての効果も見込まれ、今後、ラベンダーを活用した地域づくりを期待する。
地域産木材(間伐材)利用と木育による廃校小学校新生事業	中川小学校廃校新生推進協議会(松本市)	廃校となった松本市四賀地区の旧中川小学校を活用して、地域木材や間伐材を利用した木育教室や自然体験の場を提供することで、子ども達が自然や木が持つ良さを体感し、健全な育成に寄与する。	1,759,720	1,146,000	屋外自然体験設備の整備の遅れにより、当初予定していた指導者育成講習や講演会が中止となってしまったため、事業実施方法に改善を要する。
美ヶ原高原冬の魅力発信事業	美ヶ原観光連盟(松本市)	パークボランティアの協力も得ながら、初心者向け「雪山・スノーシュー講習会」を開催し、美ヶ原高原の冬の魅力を発信することで、観光客の落ち込む冬季の新たな観光資源として四季を通じた誘客につなげる。	529,360	371,000	登山者が増加傾向にある信州において、冬期間の新たなレジャーとして又美ヶ原高原の新たな魅力創出として発展性が期待できる。
奈良井宿歴史の道「西側ルート」整備事業(奈良井氏居館跡整備)	認可地縁団体奈良井区(塩尻市)	重要伝統的建造物群保存地区として選定されている奈良井宿の観光地としての付加価値を高めるため、区民一体となって旧奈良井氏居館跡を巡る遊歩道の開設を行うとともに、地域資源学習会を開催し、住民自らが歴史を検証する機会を提供する。	810,000	540,000	当初計画していた遊歩道整備が進捗しなかった課題はあるものの、荒廃地となっていた奈良井氏居館跡地を、地元住民による草刈りや植樹作業を継続的に実施して整備した。
NAGANO WINE in 東京の開催	長野県ワイン協会(塩尻市)	一般消費者やマスコミ、酒販店や飲食店関係者に信州ワインの魅力を知ってもらい、また産地に訪れてもらうため、県内ワイナリーが一堂に会して首都圏においてプロモーションイベントを開催する。	4,647,500	1,520,000	桔梗ヶ原ワインバレー関係者を中心に、県内各ワイナリーがNAGANO WINEを首都圏で発信し、認知度、ブランド力を押し上げることができた。県ブランドのジビエ、生花のPRも同時に行い、参加者からはワイン、料理ともに良い評価をいただいた。
塩尻四宿400年祭(街道交流事業)	街道交流事業実行委員会(塩尻市)	塩尻四宿の開宿400年を迎えるにあたり、各宿場を愛する会や地元区などが一体となった実行委員会を組織し、交流人口の増加と地域の伝統文化の再発見につなげるため、学習発表会や皇女和宮御下向行列の再現、宿場間の周遊事業など様々な催しを実施する。	4,961,709	2,930,000	4つの旧宿場が連携し事業が展開され、各地区の多くの住民が参画して実施された。また400年という節目ということもあり、マスメディアにも取り上げられ多くの参加者を得たことは評価できる。今後も住民の地域づくりの機運の高まりを活かし、息の長い活動に期待する。
DEEPな塩尻の魅力を発信！必ずまた会いに行きたくなる、この街で働きたくなるツーリズムプロジェクト	塩尻商工会議所(塩尻市)	首都圏の若者をターゲットに、塩尻に暮らす「人」の魅力を発信し、それを誘客やコアなファン作りに活かす、人と人とのつながりにスポットを当てたツーリズム企画や、短期型のインターンシップ企画をNPO法人と連携しながら実施する。	1,040,626	492,000	地域の人、魅力、課題ごとにテーマ設定し、少人数のチームによる短期間の地域でのインターンシップを開催し、地域へ深く愛着を持ってもらい、移住交流の一助となった。また、過去の参加者との交流により、塩尻のコアなファンづくりの広がりにつながった。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援 金額(円)	
安曇野ガイドウォーク案内 マップ制作事業	安曇野案内人 倶楽部(安曇野 市)	既存のガイドマップでは網羅しきれない、地域住民の生活者視点を兼ね備えたウォークマップを製作する。またそのマップを活用し、登録ボランティア等が案内人としてきめ細かく地域をガイドすることで、より質の高い安曇野ファンを増やしていくことを実践する。	507,600	380,000	制作したマップについて、登録ボランティア等の案内人によるウォーキングマップに活用されており、観光客のほか、地域住民にも活用が広がっている。
YAMAKOIプロジェクト	YAMAKOI・穂高山麓に熱気と活力をもたらす会 (安曇野市)	主に女性をターゲットとしたハンドメイド作家による「あづみの木もれ日マルシェ」や地元高齢者や農家の出店による「軽トラ朝市」、男女にゆったりと落ち着いた空間で出会ってもらう「カップリングパーティー」を実施することで、穂高山麓地域に観光客を呼び込み、地域経済の活性化につなげる。	464,548	348,000	あづみの木もれ日マルシェや安曇野軽トラ市等イベントの開催により活動が定着してきており、集客が増加している。活性化に取り組む他の地域への波及を期待する。
安曇野神竹灯	安曇野で暮らす 様に泊まる実行 委員会(安曇野 市)	観光客が減少する冬季に、穂高神社とその周辺一帯で竹灯籠に灯をともしライトアップイベントを準備段階から地元住民や高校生を巻き込んで企画し、地域の一体感形成の機会とするとともに、農家との連携により使用後の竹を粉状にし肥料として再利用することで地域循環型農業の確立に寄与する。	2,437,120	1,376,000	年々来訪者も増加し、地域の一大イベントに成りつつある。また、住民協働による動きも見られ、安曇野地域活性化のピースとして発展を期待する。今後は、実効委員会運営体制の強化を図り、市や商工会、企業等を巻き込んだ協働によるイベント実施体制の構築を期待する。
善光寺街道400年記念事業	善光寺街道協 議会(麻績村)	善光寺街道の開設400年や善光寺御開帳に向けて、街道の様子を分かりやすくまとめたパネル展示を実施したり、観光事業者との共同企画で街道を歩いて巡るツアー商品を開発することで、善光寺街道を観光資源として県内外に広く発信する。	646,638	472,000	善光寺御開帳年に実施した事もあり、また、善光寺街道に興味を持っている方々も年々増加傾向にありシンポジウムを通して善光寺街道への理解が深まり、街道を地域の資源とした取組は評価できる。他県等からの賛同者も巻き込み、善光寺街道沿線をフィールドとした善光寺巡礼による地域活性化を期待する。
「信州山の日」鉢盛山記念登山事業	朝日村	「信州山の日」に合わせ朝日村のシンボル鉢盛山への記念登山を実施し、その魅力や価値を再確認するとともに、鉢盛山紹介の記念番組を制作し、CATVを通じて村内外へ放映することで、山に対する住民の意識を高めて、新たな登山者を発掘するとともに、村を訪れる観光客の増加につなげる。	799,284	599,000	信州山の日が制定され鉢盛山への関心も高まり、幅広い世代の多くの方々が登山を楽しんだ。今後は、カラマツを使った村内の観光施設(コテージ)へ宿泊を促すなど、鉢盛山登山を核にした地域活性化策を図るための事業展開を期待する。
つなげる・つながる 松本市 内発シャトル便運行事業	松本市内スキー場等を利用 する市内宿泊 施設冬期活性化 協議会(松本 市)	松本市内と野麦峠スキー場とをつなげるシャトルバスを運行することで、観光客に対して利便性の高い交通手段を提供するとともに、他の観光資源と有機的に結び付けることで、より魅力ある冬期の松本観光を提供する。	4,148,000	2,782,000	松本市内と野麦峠スキー場とをつなげるシャトルバスを運行することで、観光客に対して利便性の高い交通手段を提供し、他の観光資源と有機的に結び付けることで、より魅力ある冬期の観光振興に貢献できた。今後、運賃の改定等も視野に入れ、新たなプランを増設し、宿泊客取り込みの推進に期待する。
市民観光コンシェルジュが つなぐ人と街事業	まつもと城町市 民コンシェル ジュ(松本市)	海外からの松本を訪れる旅行者向けの案内サービスを充実させることで、グローバルな視点でよりきめ細かな観光案内を行い、他の観光地との差別化、市内観光の魅力向上に寄与する。	606,960	455,000	今回の事業で制作した外国人向け案内ビデオは、これまで実施してきた英語版パンフレットを活用した外国人向け観光案内と合わせ、おもてなしの模範事例となるものであり、インバウンド観光の推進に寄与することが期待できる。
安曇野ハーフマラソン事業	信州安曇野 ハーフマラソン 実行委員会(安 曇野市)	市制施行10周年を迎える平成27年を前に、住民の周知やボランティア等への積極的な住民参加を促すことを主目的として、観光都市安曇野らしい「おもてなし」による安曇野ハーフマラソン大会のプレ大会を開催し、地域に対する誇り、市の一体感を醸成するとともに、県外における安曇野ファンの拡大を図る。	10,832,281	5,000,000	実施したプレ大会へはランナー参加者の目標を達成するとともに、地域住民らによるボランティアの運営参加により、第1回大会に向けた機運の醸成や課題の検証を行った。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援 金額(円)	
生坂農業未来づくり事業	生坂村	村内全地区において開催した農業懇談会による住民の意向を踏まえ、村の農業公社に住民が使用できる農機具を設置することにより、耕作放棄地を共同で管理する生坂スタイルの営農パターンを構築する。また、農作物の基礎的な栽培研修を行う農業塾を開催することにより、農業従事者の育成と営農組合の経営安定を図る。	1,007,169	693,000	農業塾の受講生が村外移住者も含め7名増加の28名となり、担い手育成に繋がっている。また、生坂村農業公社が中耕ローターを導入し、営農組合等へ貸し付けることで効率よく大豆生産の省力化が図られた。今後とも耕作放棄地の解消と併せた農業従事者の育成及び営農組合の経営安定を期待する。
「おいしい信州ふーど(風土)」松本地域活動事業	「おいしい信州ふーど(風土)」松本地域活動協議会(松本市)	地域農業に携わる関係機関・団体に加え、宿泊施設や飲食店が一体となって地域住民とも協働しながら、「おいしい信州ふーど(風土)」の特徴と総合供給力を活かした多様な商品・サービスを提供し、松本地域農産物の新たな需要を創出する。	6,343,577	5,000,000	農業者及び生産者団体、関係行政・団体等が連携し、松本地域農畜産物を活用した新商品・新サービスの開発・販売に取り組むことで、松本地域の農畜産物の魅力を広く発信することができた。今後は、松本地域ならではの価値の創造・認知と需要の拡大への取組を期待する。
農地風食防止実証事業	松本南西部地域農地風食防止対策協議会(松本市)	毎年2～4月にかけて、強風によりながいもなどのほ場から砂塵が舞い上がって飛散する現象に対し、関係行政機関・団体と農家が連携して、より農家の負担が少なく取り組みやすい対策を開発・検討し、被害の低減を図る。	767,800	607,000	大規模展示実証ほを設置し、新たな風食防止対策方法の周知ができた。本事業で得られた結果を元に啓発資料を作成することとなり、地域の団体や農家等と協働して、対策の実践・啓発活動に取り組むことを期待する。
天蚕振興事業	安曇野市天蚕振興会(安曇野市)	「天蚕」を地域資源として今後も継承するため地元を始め全国に広く知ってもらうための様々な情報発信や、天蚕糸を用いた新商品の試作開発を通じて需要拡大を図ることで、地域ブランド構築に繋げる。	1,631,243	1,223,000	天蚕に着目し知名度の向上を図りながら新たな商品の開発や就労の創出といった地域振興策に繋がる取り組みであることは評価できる。今後は、やまこの学校事業との連携を図りながら、地域で一体性のある継続した取組に発展する事を期待する。
21世紀のおやき作り ～粉を活かした元気な村づくり～	上生坂夢の里山の会(生坂村)	遊休状態にある村の公共施設を活用して、村の伝統食である灰焼きおやきや粉を利用したパンやピザなどの加工品を製造する拠点を整備するとともに、技術講習を通じて、伝統食の継承と地域産業の活性化に寄与する。	3,699,689	2,420,000	これまで取り組んできたおやき加工技術の向上のほか、新たに幅広い世代向けの商品開発を若い世代のメンバーを加え実施し、生坂村の粉文化として村内外へ発信しており、地域づくりの核となる事業として村の活性化に寄与した。
遊休荒廃農地の解消と山林整備と伐採木の有効活用	フロンティア朝日生きがいの会(朝日村)	遊休荒廃地を借用してのんにく、落花生栽培、間伐等により切り倒された木を薪としての活用や炭焼きなど様々な活動を通じて、地域の高齢者の生きがいづくりや遊休農地に解消、木材資源の有効活用につなげる。	1,657,284	645,000	炭焼き窯が完成し、山林から切り出した間伐材を活用した炭焼きを実施することができた。その他既存からの薪づくりや茗荷、蕎麦、のんにくの栽培等を通じて、会員相互の生きがい創出に留まらず、村民の関心も高まっている。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援 金額(円)	
新生児から木製玩具に触れ合うウッドスタート環境整備事業	木育フェスティバル実行委員会(塩尻市)	木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに人生をスタートさせるウッドスタートの趣旨を実現するために、事業者や木工職人等の木育関係機関が連携して、地域材を活かした「新生児に対しての誕生祝い品としての木製玩具」や「塩尻オリジナル木育パッケージ木製玩具」の製品プロデュースを行う。	875,622	655,000	H27年度からの市の新規事業である新生児へ贈呈する木製玩具を住民参加型で開発、決定した本事業は、他市町村にはない取組であり、当市の木育推進に寄与するもので評価できる。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (4) 商業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援金額(円)	
ファッションから広がる美と健康のライフスタイル提案イベント 地域発信型ファッションフェスティバル開催事業	なわコレ実行委員会(松本市)	縄手通りをメイン会場として、地元の服飾店や美容室等が連携し「地域発信型ファッションショー」を開催するとともに、ファッション(衣)とフード(食)を連携させた取組を通じて、中心市街地の活性化と地産地消の啓発に寄与する。	5,285,358	2,372,000	来場者が前年比30%増加するなど、若者による中心市街地の活性化イベントとして一定の集客効果があった。今後は地域の恒例イベントとしての定着を期待する。
2014信州ワインサミットin松本	松本オクトーバーフェスト実行委員会(松本市)	長野県を代表する特産品であるワインのブランド化と消費拡大及びワイナリーの販売力向上等を目的として、ワイン学習会や県内産ワインを普及するための飲食イベントを開催し、合せて地元産野菜の販売や福島の被災地への本を届けるプロジェクトを市民の参画を得ながら実施することで、中心市街地の活性化と、インバウンド観光の推進を図る。	14,639,734	2,745,000	予定を超える多数の来場者があり、長野県産ワインの振興のみならず、中心市街地の活性化等様々な面への波及効果が認められた。本事業は収益性の高い事業であるため、今後は自主運営による事業の継続を期待する。
中高生をターゲットとした市内への誘客アプリケーション開発と展開	一般財団法人塩尻市振興公社(塩尻市)	塩尻駅周辺で、塩尻市らしい地域の特色や店舗サービスの提供や、中高生が楽しみながら駅周辺を散策したり、店舗を訪れたり、遊びに来たくなる機会を提供するスマートフォンアプリを開発し展開することで、商店街の活性化を図る。	842,400	631,000	地域の特色や店舗サービスを中高生が楽しみながら駅前や商店街を散策する中で得ることが出来るスマートフォンアプリケーションを開発した。今後も事業に関わった企業を中心に、関係構築された近隣商店、中高生などによる連携体制によるサービス開発の継続な展開を期待する。

6 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援金額(円)	
信州塩尻桔梗ヶ原ワインバレー推進事業	塩尻市	優良果樹園の円滑な継承推進と新規参入促進による市内ワイン関連産業の活性化につなげるため、全国から意欲ある起業者を募り、専門家を講師として栽培や醸造、経営手法を習得する「(仮称)塩尻ワイン大学」を開設する。	845,140	633,000	意欲ある希望者が参加したことから、多くの方が就農ないしは就農の準備段階へ繋がっており、今後の受講や市の就農相談を通じてさらなる進展を期待する。
若者の若者による若者のための就業支援セミナー	松本政経塾(松本市)	企業にとってどのような人材が求められているか学生自ら調査分析、企画立案し、地域で活躍する企業経営者等を講師に招き「採用される人づくりセミナー」を、要請を受けた高校などで出前方式で開催することで、就業支援につながる実習体験の場を提供する。	526,830	395,000	実際に受けた学生から良い評価が得られたものの、36回のセミナー(キャリアデザイン実践講座)を予定していたが、希望学校が少なく開催数が減少となったことから、今後は採用側からどのような人材が必要なのか等、ニーズを汲み取り、学生自らが学べるような取組みに期待する。
松本地域健康産業推進協議会事業	松本地域健康産業推進協議会(松本市)	全国の市の健康促進等の取組に係る情報収集及び評価等を行い、先進事例の共有等を通じて健康に関する市民意識の醸成を高める「健康先進都市ゼミナール」を開催し、「世界健康首都会議」において公表する。健康産業分野において、松本地域をテストフィールドに製品やサービスに係る実証実験・実用化検証を実施する。	17,380,045	3,671,000	健康に関する様々な取組に接することができる機会の創造と、住民自らがプレーヤーとしてその取り組みに参加できる仕組の構築に大きく貢献したと推察される
「もう一度働きたい！女性のための働く準備講座」プレ・キャリアプログラム	ココノチカラ松本支部(松本市)	子育て中の女性を主な対象として、社会復帰に向けた必要な精神的自立(心の準備)、知識やスキルを習得するため、連続受講型のキャリアプログラム講座を開催することで、働くことへの意欲と自己認識力を高める。	695,197	556,000	就業意欲を持つ女性の目的意識の明確化、意識づけのための独自のプログラムによる講座実施、インターンシップ体験や短時間労働の機会提供等、地元企業を巻き込みながら事業を展開しており、モデル性に優れる。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
子育て世代女性の再就労へ向けた環境づくり	一般財団法人塩尻市振興公社(塩尻市)	出産・育児期の女性を始め夫や家族、周囲が「子と共に築く人生」を考える講習会の開催や、意欲ある子育て世代の女性が企業や農家等に出向いて実際に働く機会を提供することで、子どもと一緒に仕事ができる就労の形の提案することで女性の雇用促進を図る。	1,123,106	898,000	女性の再就職環境は厳しい現状がある中で、再就職への意識改革、キャリア見直し等の講演会を通して、多くの女性にきっかけを与える機会となった事は評価でき、継続的な就労に関する支援の仕組みが構築されることを期待する。
川霧にはぐまれる柿・めじろの里づくり事業	草尾柿組合(生坂村)	農家の高齢化によって困難が伴う柿の収穫作業を軽減するため、低樹木栽培及び既存樹木からの収穫を行う。また、加工した柿を長期保存するための保冷库の整備を行い、品質等が安定した柿の出荷を目指す。	1,911,939	1,288,000	本年度は栽培技術の向上等により、収穫量も向上し、収益増に向けて着実に前進が図られた。
信州塩尻「そば切り物語り」おいしいがいっぱい”秋の大収穫祭”	信州塩尻「そば切り物語り」実行委員会(塩尻市)	蕎麦切り発祥の地塩尻からそばを発信するために、そば切り物語(信州ひすいそばの披露や講演会等)、桔梗が原ヌーボーピクニック(有料試飲のワイナリーブース)、塩尻産野菜・果物の軽トラ市を開催し、特色ある観光地づくりと農業、商業の振興を図る。	10,267,148	3,591,000	そば切り発祥の地である当地で行われた本事業は、本市生まれの「信州ひすいそば」をテーマに、そばの歴史にも繋がっている平出遺跡公園で行なわれたため、地域住民のみならず、県内外の方々に認知される事業となった。

7 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援金額(円)	
善光寺街道「麻績宿」開設400年記念事業	麻績村	住民から古文書や古い暮らしの道具などを「我が家の宝」として提供してもらい、登録有形文化財である麻績学舎で展示会を開催したり、図録を制作や道標の移設、講演会の開催などを通して、節目となる麻績宿400年を記念するとともに、地域の宝としての麻績宿を再認識する契機とする。	1,452,765	1,069,000	善光寺街道「麻績宿」をキーワードとし、潜在的な地域資源の掘り起こしによる新たな地域資源の創出及び次世代へ街道文化を継承する講演会、展示会等の開催により宿場街「麻績」の元気創出に予想以上の事業効果があった。作成した「すごろく」の活用も期待でき、今後、善光寺街道をフィールドに他市町村も巻き込んだ地域活性化が期待できる。
おみごと！デゴイチ修復事業	麻績村	聖湖畔公園にある蒸気機関車を地元有志やボランティア、一般参加による子ども達などの手により再塗装などの修復作業を行うことにより、安全にSLに親しむことが出来るようになり、自分の手で修復したSLに愛着を持って聖高原を訪れてもらう契機とする。	1,069,780	801,000	延べ140名を超えるボランティアが参加し修復作業が行われるとともに、花や苗木の植栽も実施するなど、作業を通じて多くの人々の交流が図られ、予定を上回る事業効果が得られた。今後は修復したデゴイチ等を地域資源として活用していくような取組を期待する。
地域で取り組む移住者支援体制づくり事業	筑北村	村へ移住を考えている方々に対し、実際に村に移住した方との交流の機会や商工会、地元工務店、設備業者等が連携した組織が様々な情報提供や支援を行う。また、移住者にも参加してもらう形で各種移住相談会で積極的な情報発信や村内駅周辺に定住促進を図る村PR看板を設置する。	2,508,772	1,701,000	今後は、まず村自体の知名度を上げていく必要があるが、本事業でのノウハウ等を活用し、移住者確保に向けて更なる取組が行われることを期待する。
松本山雅FC支援を核にした地域づくり	神林町会連合会(松本市)	松本山雅の応援をきっかけとして、地域の幅広い世代間の交流や地域の活性化を図るため、ホームゲームの際に山雅PRの昇り旗の掲揚やスタジアム周辺清掃、エスコートキッズ、地元商工会や近隣福祉施設と協働したブース出展等を行う。	494,836	370,000	松本山雅FCの応援をきっかけとして、地域の幅広い世代間の交流や地域の活性化を図り、新たな地域づくりに貢献した。今後も、さらに、松本山雅FCを地域の宝として意識の向上を図り、地域づくりの推進に期待する。
四賀地区の活性化を目的としてワークショップ	四賀にきましょ(松本市)	四賀地区に暮らす人々が主に講師役となって、複数の体験型ワークショップを春と秋の2回にわたり企画、開催することで、四賀地区の素朴な良さを広くアピールし、暮らしたい街として発信していく。	433,530	315,000	四賀地区住民のみならず、地区外からの参加者も増え、四賀地区の良さ、魅力を多くの人に発信できた。また、地区外参加者との交流により、四賀地区の認知度アップとともに、四賀地区の活性化にもつながった。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講 評
				うち支援 金額(円)	
日本アルプスフェス2014	日本アルプスフェス実行委員会(塩尻市)	中信地域の4市が連携し、ワインなどの優れた地場産品を活用したイベントを名古屋市において開催し、イベントを通じて中信地域の魅力を発信することで、広域的な観光誘客と地場産品等の消費拡大を図る。	10,196,280	4,196,000	広域的な情報発信が求められているなか、中信4市が連携のうえ初開催し、来場者に対し生産者が直接プロモーションを行うことができた。ラジオやテレビ等の告知も行い、地域の伝統芸能や観光PRを中京圏に発信できた。
おみの星空キャンドルまつり実施事業	おみの星空キャンドルまつり実行委員会(麻績村)	回を重ね知名度も高まってきた「おみの星空キャンドルまつり」をさらに発展的に開催するため、子ども達だけでなく、親も参加しやすい方策を住民有志からなる実行委員会で検討し、参加者をさらに増やしていくことで、冬期の名物イベントとして定着を図るとともに、地域活性化の契機とする。	710,492	524,000	冬の麻績村のイベントとして定着するとともに、内容の拡充も図られるなど地域活性化に寄与した。今後は回数を重ねることによるスタッフのモチベーションの持続や運営スタッフの維持を図りつつ、イベントが継続されることを期待する。
福島っ子松本留学支援事業	NPO法人まつもと子ども留学基金(松本市)	福島の子どもたちを対象に、四賀地区において子ども留学事業を行い、安全な生活と教育環境を提供するとともに、留学生が地域の子どもたちや住民と交流を図ることで、地域の活性化にも寄与する。	1,099,800	744,000	東日本大震災で被災した福島の子どもを留学という形で受け入れ、安心して過ごしてもらおうとともに、受け入れ側の四賀地域の活性化に寄与するなど、地域活性化も図られた。
JR篠ノ井線の利用促進と松本地域の観光振興等事業	篠ノ井線松本地域活性化協議会(安曇野市)	松本地域の8市村及び関係団体で構成する「篠ノ井線松本地域活性化協議会」を設立し、北陸新幹線の延伸や善光寺御開帳に合せた篠ノ井線の利用促進及び松本地域の観光振興を目的として、地域住民等の参加協力を得ながら、PRパンフレットの作成、HPの開設、利用実態・利用促進アンケート等を実施する。	1,989,516	1,591,000	篠ノ井線の利用促進に向け自治体・関係団体による事業が開始されたことは意義がある。今回実施できなかったアンケート調査のほか住民協働による参加促進の取組等、今後の事業発展を期待する。